

民主党千葉県 総支部連合会

新幹事長に



第10回民主党県連定期大会

この 河野としのり 満場一致で 県議を 選出

民主党千葉県総支部連合会は2月17日、千葉市中央区「京成ホテル」で、第10回定期大会を開き、「県委員会の廃止と総支部長会議の新設」などの県連規約一部改正案が承認され、長浜代表の留任と、新幹事長に河野県議など、大会選出の役員が満場一致で決定されました。



幹事長に選出され、所信を述べる河野としのり県議

民主党千葉県総支部連合会 新幹事長 就任にあたり 河野としのり県議

国でもそうでしょうか、に行き、自分の目で見て地方議会の民主党が実質的な与党となり、執行部と一緒に予算編成を詳細に行う日は近い。県議会においては民主党県議が21名と倍増し、執行部からの予算や議案について今までにない詳細な説明と資料提出がなされる。また、今まで自民党一点張りだった各種協同組合やそれぞれの政治連盟が民主党と陰に陽に接触を求めて来ている。

このような変化を思うと、イデオロギーを言い、ただ反対だけで終わっては済まされない。県議会では「一機でデータ」を眺めるだけでなく、問題になっ

の衆議院選挙で当選に届かなかった方々の無念な気持ちを常に思い、来るべき総選挙に必勝を期し共に戦って参りたい。

堂本知事に 予算要望書を提出し 予算反映を強く求めた。



堂本知事に予算要求する河野県議(県庁知事室にて)

昨年未、知事に対し、医療体制の充実、医師・看護師不足の解消の安全、子育て環境の充実、財政再建、随意契約を見直し一般競争入札の拡大、高齢者の福祉施設の充実、JR千葉線のダイヤ改善等々、予算に反映する事を要望した。(県議会民主党
平成二十年度一般予算案に反対)
しかし、二月定例会議会では、要望書を提出し強く求めた財政の健全化が充分でない事、さらに道路特定財源の暫定税率の廃止や一般財源化が反映されていない事などの理由で一般予算に反対した。

新型インフルエンザ対策を 県議会の採択を持って国へ要望する

河野としのり県議 平成20年3月 定例会議

新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書(案)

鳥インフルエンザ(H5N1型)の感染拡大が世界的に広がっている。インドネシアでは死者がすでに100人を超えている。専門家の間では、やがてウイルスが変異を起し、人から人に感染する新型インフルエンザになるのは時間の問題といわれている。
政府の予測では、新型インフルエンザの被害想定は、国内での感染者数3,200万人、入院患者53万人から200万人、死者17万人から64万人としている。発生すると大変な事態となる。
これに対して、多くの国民は世界的流行(パンデミック)になったときの対策に強い危機感を持っている。現在の鳥インフルエンザウイルスを駆使して開発されたワクチンは、1,000万人分しかない。医療や警察、消防などに政府関係者などに優先に接種されることとしており、一般市民がどうなるのか、どのように使うのかも決まっていな。新型インフルエンザが発生した後にその新型ウイルスで作るパンデミックワクチンも製造まで1年を要するとされ、その準備も製造計画もみえていない。
また、千葉県でも同様の接種で約50万人分と多額の県費を使って備蓄したタミフルも、既に耐性をもつ鳥インフルエンザウイルスが現れ、薬の効力が危ぶまれている。さらに、患者の収容施設や治療に不可欠な人工呼吸器は全く足りない状況である。発生時の収容の方法やその徹底さえも十分に詰められているとはいえない。
日常生活に欠かせない電気やガスのライフラインを扱う企業の新型インフルエンザ対策は、まだ情報収集の段階で具体的な施設維持がどのようになされるかわからない状況である。
このような曖昧な発生時対策は国民の強く危惧するところである。よって国においては、新型インフルエンザの大流行の不安解消のため、早急にさらなる詳細な行動計画をつくり、より具体的に地方に対する財政措置も含め再検討すべきである。
また、米国を始め多くの国が新型インフルエンザ対策はウイルスとの戦い、つまりバイオ戦争として受け止めて対策を取っているように、病院、警察、消防とともに、当然自衛隊も治療施設の設置、患者を収容する施設の管理維持などに協力することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月 日

千葉県議会議員長

内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣

鳥インフルエンザの感染拡大が世界的に広がりがやがてウイルスが変異を起し、人から人に感染する新型インフルエンザになるのは時間の問題と言われている。河野としのり県議は、「ワクチンは一千万人分しか用意されてなく、医療や警察・消防さらに政府関係者などに優先に接種され、一

般市民には届かない、また、多額の県費を使って備蓄したタミフルも、既に耐性をもつ鳥インフルエンザウイルスが現れ、薬の効力が危ぶまれている。さらに、患者の収容施設や治療に不可欠な人工呼吸器は全く足りない」と指摘し、曖昧な対策ではなく、より詳細な行動計画と財源措置、及び、病院、警察、消防とともに、自衛隊も治療施設の設置や患者を収容する施設の管理維持などに協力することなどを求める意見書を作成し、県議会の採択を得て、千葉県議会の意志として国に強く要望した。

県議会の議決を得た河野県議提出の新型インフルエンザ対策の国への要望書